

優秀な人材を確保・育成

優秀施工者（建設マスター）国土交通大臣顕彰

聞く！ 語る！

特集 見聞

建設マスターとは、
第一級の技能のスペシャリストです



優秀施工者（建設マスター）国土交通大臣顕彰は、建設業界に優秀な人材を確保・育成することを目的に、建設技能者の中からとくに優秀な技能を持ち、後進の指導・育成に多大な貢献をしている人を表彰する制度です。平成4年から始まり、山口県からも毎年数人が受賞しています。今回は平成18年度に表彰を受けた福田一郎さんと油利博成さんに、受賞の感想や仕事への思い入れ、後進へのメッセージなどをうかがいました。また、福田さんが所属する西山建設（株）の社長・西山泰弘さんと、油利さんの取引先である（株）早川組の社長・早川順治さんにもお話をうかがいましたので、併せて紹介します。

■まずは、福田一郎さんにお話しします。最初に表彰式に参列されたときの感想をお聞かせ下さい。

表 彰式は東京であったのですが、駅から会場まで人込みの中を、妻とはぐれないように手をつないで歩きました。ふと周りを見ると、スーツの似合わない何組かの夫婦が、同じように手をつないで歩いていきます。この人たちも同じところに行くのかなと思うと、なんだか嬉しくなりましたよ。（笑）
工事はなかなか休みがとれませんが、遠くに行くことはめったにありません。まして妻と手をつないで歩くことなんか考えられ

ないので、こういう晴れがましい場と一緒に参加できて最高の思い出になりました。

■表彰理由は、土木工事における優秀な技能および技術開発や施工の合理化に貢献となっていていますが、良い仕事をするうえで最も大切なものは何でしょうか。

整 理整頓されたきれいな現場にするといいことです。工事現場だから汚くてあたりまえと思っていたら、気が緩んでしまいます。いつもきれいにしておくことで、作業員の意識も高まりますし、緊張感も持続します。

それから、できることを真面目にやる癖をつけることです。よく工事現場はシートで覆ってありますが、きれいに、真面目に仕事をしなければ隠す必要なんかないんですよ。もちろん粉塵防止

や安全対策の場合はしかたありませんけどね。

■その安全対策ですが、この業界に入って以降、福田さんは無事故を続けておられます。どのような取り組みをされているのでしょうか。

事 故は、突き詰めれば人災です。防ぐためには、どれだけ予測できるかだと思います。場数を踏んで、事故をシミュレーションできれば対策をたてることができます。

福田 一郎さん
Ichiro Fukuda



特
集
見
聞

聞く！
語る！



油利 博成さん
Hironari Yuri

く、室内も同様です。室内側でも水回りには必ずコーキングが施してあると思いますよ。

■新しい業種だと思いますが、いつごろからできたのでしょうか。

20年くらい前からパネル工法が進んできて、コーキングの必要性が高まってきました。5〜6年前からは仕上げの美しさが重要視されるようになり、デザインの一部として考えられるようになりました。そうすると、単に防水の機能を果たすだけでは満足してもらえなくなり、美しく仕上げる技術や、材料を選ぶ目が必要となります。

ただ、業種としてはまだまだ確立されているとはいえません。業界の中でも「雑工事」に分類されることが多く、認識が薄いのが現状ですね。



■施工の難しさ、注意している点
はどんなことでしょうか。

難しいのは、現場ごとの条件が全て違うことです。部材

の材質が違うのはもちろんですが、気温や湿度などもその都度違ってくる。これらを考慮したうえで、工期に間に合わせなければならぬところが最も難しい点です。

技術的な面では、マスキングなどの下処理を丁寧に行うこと、機能面も仕上げの美しさも、下処理次第だと思っています。

■後進の指導にも熱心だとうかがいましたが、若い人には何を学んでほしいと考えておられますか。

何事もそうでしょうが、やはり基本的な技術をしっかりと学ぶことですね。そしてもう一つ大切なことは、社会人としてのマナーを身に付けることです。

最近の建設現場は、昔ながらの職人気質だけでは通用しない厳しさがありません。様々な人とコミュニケーションをとるためのマナーを知らない、信頼関係も築けないでしょう。いつも私が若い人に言っているのは、技術的にも人格的にも信頼されるようになって、職長として現場に入れるようになっていくことです。

■最後に、受賞された感想と今後の抱負をお聞かせ下さい。

受賞できたことは名誉なことですが、プレッシャーにもなりません。建設マスターという肩書きを背負って色々なことにはできませんから。(笑)

今後は、シーリング防水という業種の地位を確立していきたいと思っています。業界全体がレベルアップしていけば、認知度も上がって



(右) 早川順治さん

いくでしょう。そのためにも、一緒に仕事をしている仲間たちに、建設マスターにチャレンジしてほしいですね。

■では、油利さんの取引先である早川組の社長である早川順治さんに受賞についてうかがいます。

早川／仕事をしている仲間が表彰されるのは嬉しいことです。このような受賞者がどんどん増えてほしいものです。私たち建設業者も油利さんをはじめ様々な人たちの信頼関係を大切にしていきたいと思っています。